

## 平成17年度高等教育研究改革推進経費報告

## 教育研究課題

## 「獣医学分野における感染症診断・解析技術に関する教育体制の確立」

獣医学部獣医学科，責任者：有嶋和義  
代表担当者：木内明男

1. 関連するカリキュラムの科目名：獣医微生物学，家畜伝染病学，獣医寄生虫学
2. 単位認定：有
3. キーワード：①感染症 ②診断 ③HACCP
4. 教育研究の特色・独創的な点：近年，獣医師として関与する感染症が，我が国を始めとして世界各地で大発生している。より高度な先端的技术を習得し，これら感染症を適切に診断・解析する能力を有する人材の育成は，社会の強い要求である。最新の技術を取り入れた感染症学の教育体制を確立することは極めて重要であり，独創的試みである。
5. 購入備品
  - ・スタンダードリアルタイムPCRシステムライトサイクラー ST300一式
  - ・ND-1000 分光光度計システム一式 NanoDrop
6. 教育・研究内容

平成17年度は，スタンダードリアルタイムPCRシステムライトサイクラー ST300一式 及びND-1000 分光光度計システム一式 NanoDrop を設置した。14年度より整備したDNAシーケンサー，高解像度デジタルカメラ付属の落射蛍光位相差顕微鏡，PCR装置（サーマルサイクラーシステム）及びELISA（酵素免疫測定法）用装置（マイクロプレートリーダー，マイクロプレートウォッシャー）を使用した教育が可能になった。

これらによって，家畜保健衛生所や食肉衛生検査所で実施されているレベルあるいは，それ以上の機器の取り扱い・測定方法また，結果の解析に十分に対応できると考えられた。